

News Release

2003年8月20日

不動産情報サイト事業者連絡協議会

「不動産情報サイト利用者意識アンケート」調査結果

ネット物件検索利用者の半数が、実際に不動産会社に問合せ。

問合せ方法の主流は「メール」、女性は6割以上がメールを利用。

問合せをした人の6割が不動産会社を訪問。

物件検索、最も便利だと思うのは「インターネット」、
最も信頼できるのは「不動産会社」。

「ネット検索は“便利”だが“信頼性”が課題」という結果に。

ネット物件検索利用者の93%、未利用者の67%が
「今後、不動産情報サイトを利用したい」。

不動産情報サイト事業者連絡協議会（事務所：東京都中央区、略称：RSC、詳細は4ページご参照）では、このたび、当協議会ホームページおよび会員不動産情報サイト上で一般消費者向けに実施した「不動産情報サイト利用者意識アンケート」の調査結果をまとめましたのでご案内いたします。

本アンケート調査は、不動産情報サイトの利用実態とその推移を調査するために年1回実施するもので、今回はその第1回目です。概要は以下のとおりです。

1. 調査の概要（詳細は別添資料ご参照）

- (1) 調査方法 不動産情報サイト事業者連絡協議会サイト、会員サイト、不動産情報サイト上で行ったオープン型調査
- (2) 調査期間 2003年4月10日～6月9日の2か月間
- (3) 有効回答者数 516人（男性：57.4%、女性：42.6%）

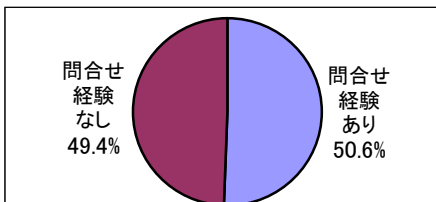
2. 主な調査結果 (詳細は別添資料ご参照)

1. インターネットで物件検索した利用者の内、半数が不動産会社に問合せ

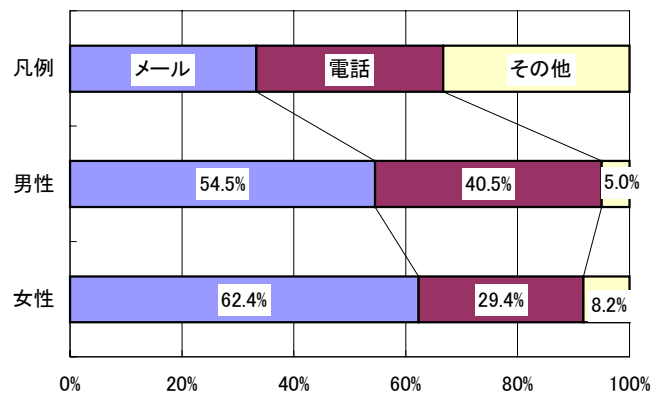
2. 問合せ方法はメールが主流、特に女性は6割以上がメールで問合せ

3. 問合せた人の6割がその後、実際に不動産会社を訪問

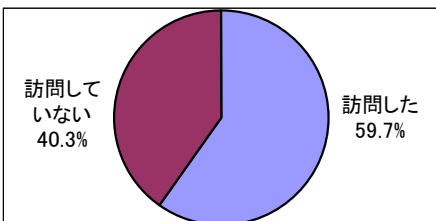
1. 問合せの有無 (n=407)



2. 男女別問合せ方法 (男性 n=121 女性 n=85)

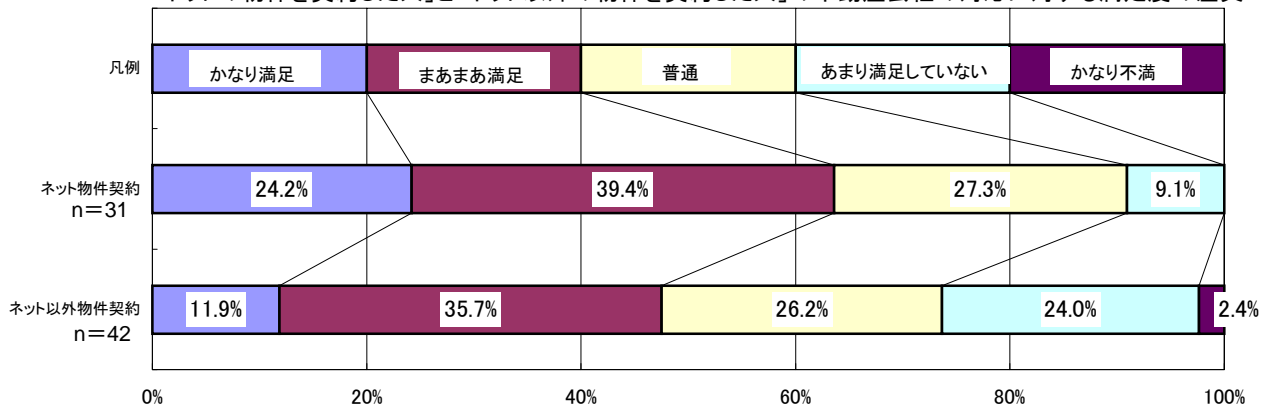


3. 不動産会社訪問の有無 (n=206)

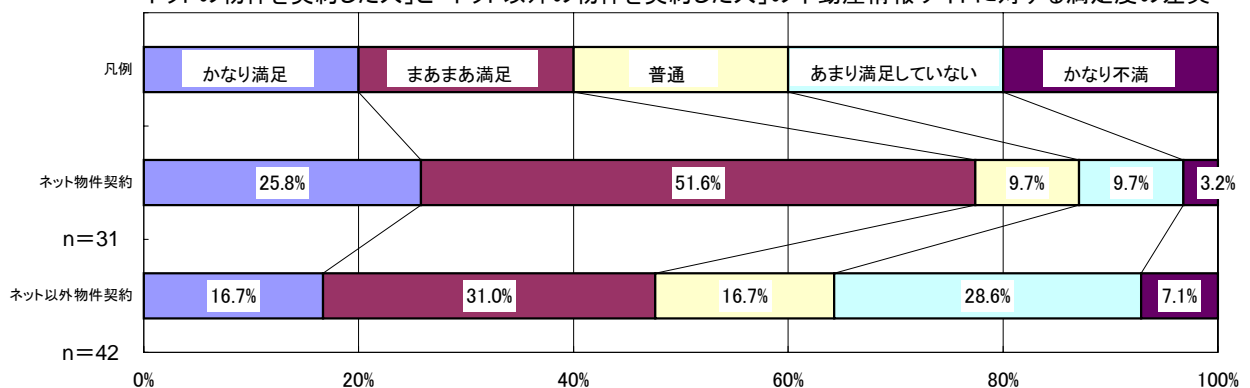


4. ネットで探した物件を契約した人は、不動産会社やサイトに対する満足度が高い

* 「ネットの物件を契約した人」と「ネット以外の物件を契約した人」の不動産会社の対応に対する満足度の差異



* 「ネットの物件を契約した人」と「ネット以外の物件を契約した人」の不動産情報サイトに対する満足度の差異

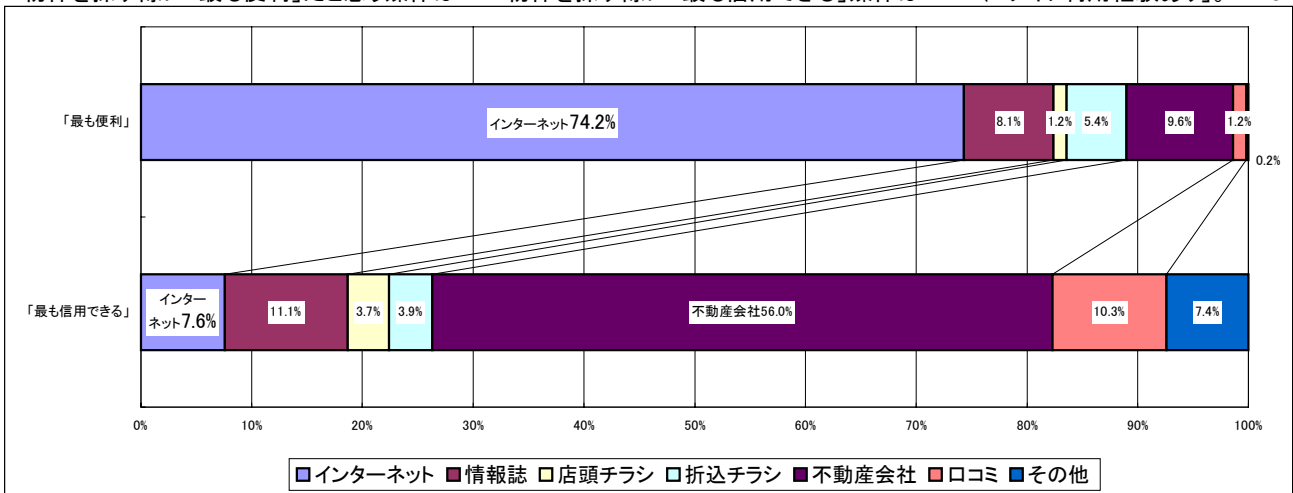


5. インターネットでの物件検索、「便利」だが「信頼性」が課題。特に女性に対しては「信頼性」アップが急務

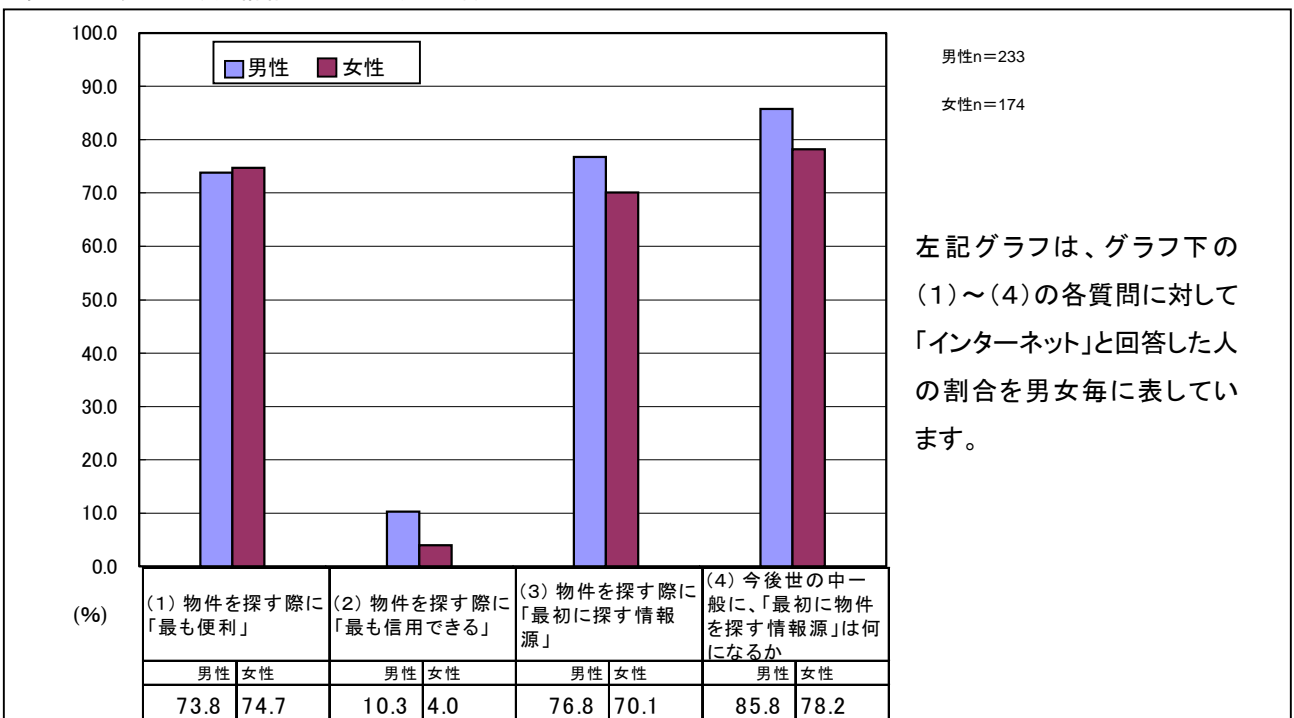
物件を探す際に「最も便利」だと思う媒体として「インターネット」は74.2%と最も多く、以下、「不動産会社」(9.6%)「情報誌」(8.1%)が続きました。インターネットが便利な理由として、「不動産情報量が多い」「検索が便利」「問合せが簡単」という声が多数でした。

一方、物件を探す際に「最も信用できる」媒体としては、「不動産会社」(56.0%)「情報誌」(11.1%)「口コミ」(10.3%)に続き「インターネット」は7.6%でした。インターネットでの情報の信頼性に不満を持っている人の理由としては、「物件の詳細情報(間取図・外観写真)の不備」「成約済みの物件情報が載っていた」「問合せに対する不動産会社からの返答がなかった」「個人情報の保護が不安」という声が目立ちました。

* 物件を探す際に「最も便利」だと思う媒体は？ * 物件を探す際に「最も信用できる」媒体は？ (「サイト利用経験あり」。n=407)

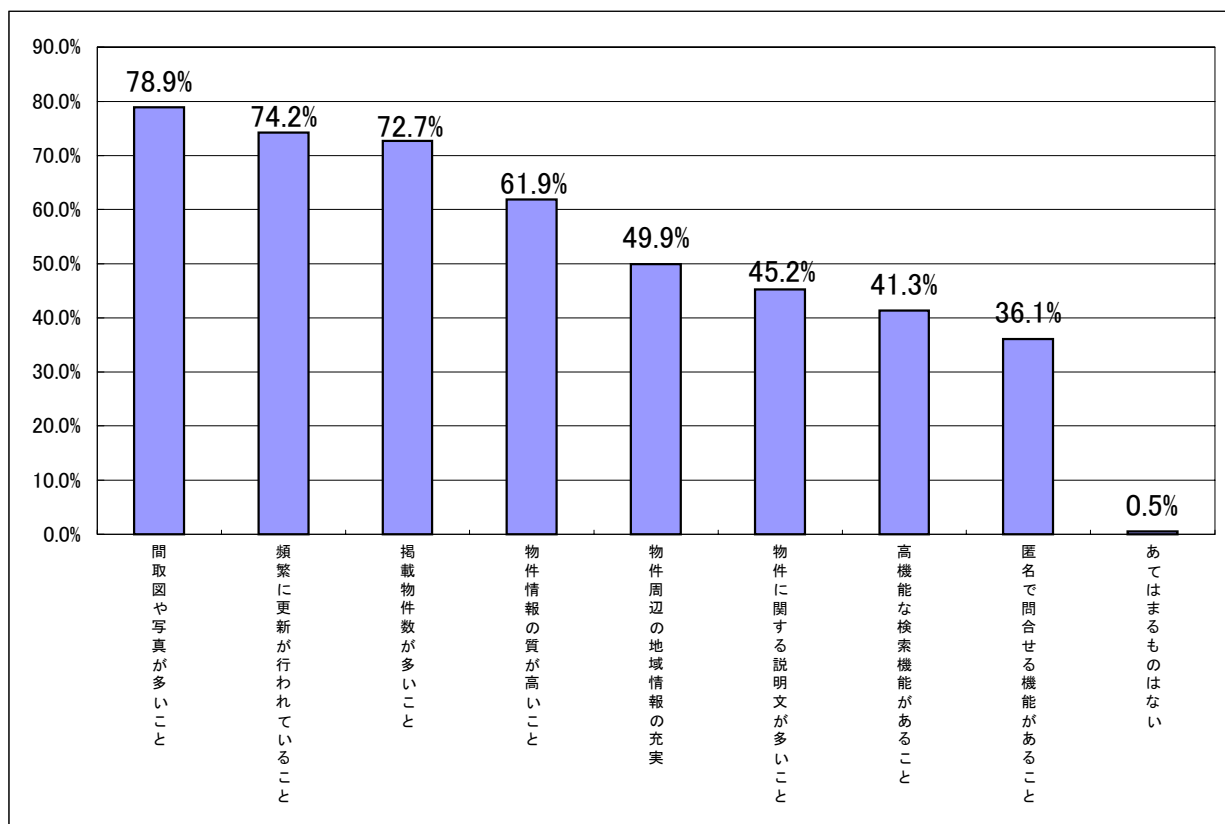


* 男女別で見る不動産情報サイトに対する意識の差異



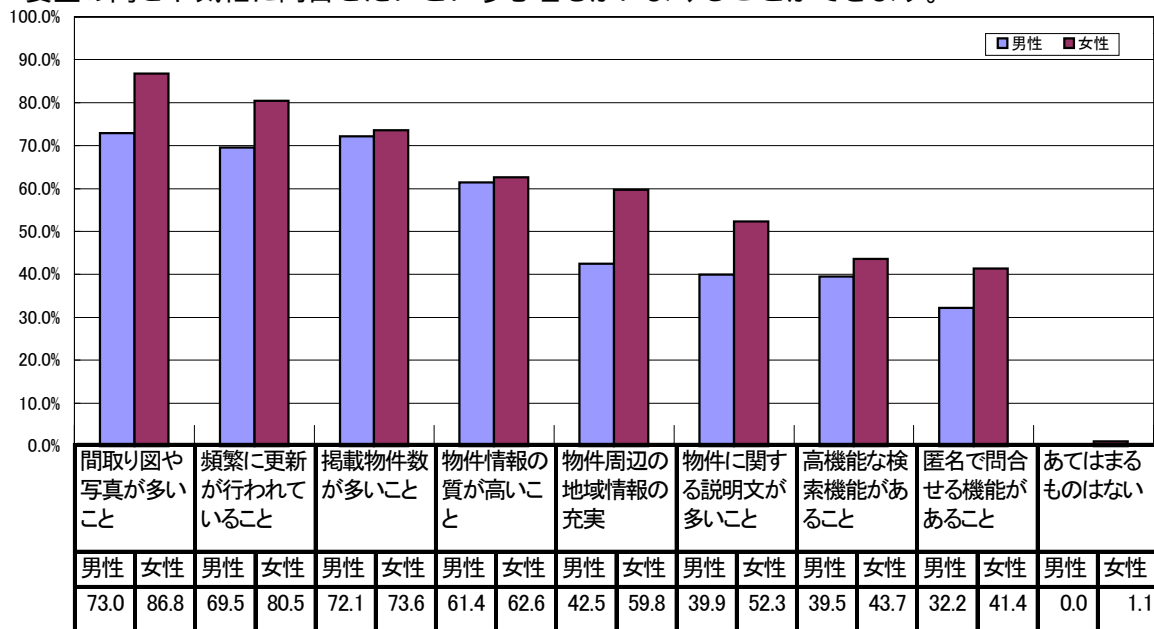
6. 不動産情報サイトに対する要望、「物件情報の内容・質・量の充実」

不動産情報サイトに対する要望としては、「間取図や写真が多いこと」(78.9%)、「頻繁に更新が行われていること」(74.2%)、「掲載物件数が多いこと」(72.7%)が上位を占めました。また、「物件情報の質が高いこと」(61.9%)という声もあり、「たくさんの情報量」の中から物件選びをしたいという要望に加え、「物件情報の信頼性」を求める意見も多くみられました。



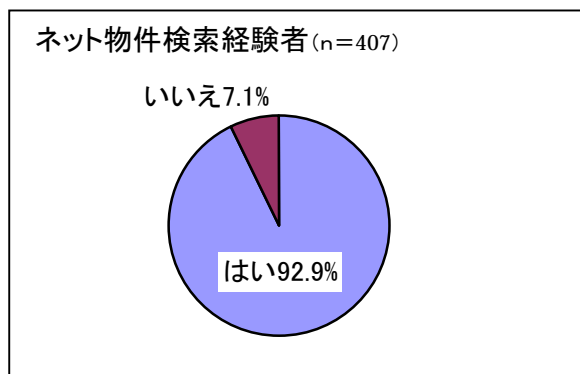
7. 不動産情報サイトに求めるものは、全項目で女性が男性より高ポイントに

男女ポイントに開きのある上位3項目を並べると、「物件周辺地域情報」17.3P差、「間取り図や写真の多さ」13.8P差、「物件説明文の多さ」12.4P差となっており、各物件の詳細情報をもっと知りたいという要望が高いことがうかがえます。次に差が出ているのは、「頻繁な更新」で11.0P差。また、「匿名で問合せる機能がほしい」という項目についても、9.2P差があり、個人情報管理に関する要望の高さや気軽に問合せたいという心理もかいまみることができます。

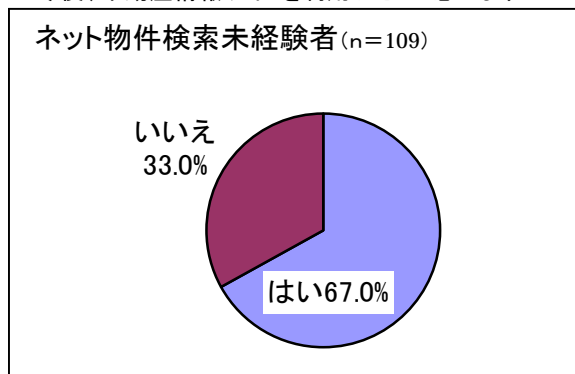


8. ネット物件検索利用者の93%、未利用者の67%が「今後、不動産情報サイトを 利用したい」

* 今後も不動産情報サイトを利用したいとお考えですか？



* 今後、不動産情報サイトを利用したいと思いますか？



不動産情報サイト事業者連絡協議会 (Real estate Site Consortium: 略称 RSC) 概要

[住 所] 東京都中央区新川1丁目26番地9号

[ホームページ] <http://www.rsc-web.jp>

[設 立] 2002年4月2日

[組 織] 会長 株式会社リクルート マーケティング局 常務執行役員 竹原敬二

理事 アットホーム株式会社 代表取締役 松村文衛

理事 株式会社ネクスト 代表取締役社長 井上高志

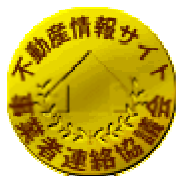
監事 アットホーム株式会社 庄司利浩

[事業内容] 不動産情報サイトを運営する事業者が、サイト利用者である一般消費者に対して常に正確で安全な不動産情報を提供していくための情報提供方法や、情報提供元である不動産会社が情報をより活用しやすくするための仕組み等を、研究・構築するための様々な事業を行うことを目的とします。主な活動内容は以下のとおりです。

- (1) インターネット上における不動産広告の適正化
- (2) 不動産情報基盤の技術的研究

[協議会会員マークの提示]

会員各社は、運営するサイト上に以下のマークを掲示し、会員であることを証明する。



< 本件に関するお問合せ先 >

不動産情報サイト事業者連絡協議会 担当：小垣 朗

東京都中央区新川1丁目26番9号 〒104-0033

電話 03-5117-2624 FAX 03-5117-2625

info@rsc-web.jp または、担当:中谷 電話03-3575-7500